

地 域 再 生 計 画

1 地域再生計画の申請主体の名称

西条市

2 地域再生計画の名称

西条市起業家マインド醸成計画

3 地域再生の取組を進めようとする期間

平成 17 年度から約 5 年間

4 地域再生計画の意義及び目標

愛媛県西条市では、長期にわたる地域経済の停滞や地域間競争が激化するなかで、これまでの企業誘致により地域の活性化を目指す「誘致外来型」の産業政策から、地域資源を活用した新規産業の創出やベンチャー企業の創業支援により地域活性化の原動力を強化する「内発型」の産業政策へ転換するため、平成 11 年に産業振興策の実施機関として、第三セクター方式の(株)西条産業情報支援センターを設立し、相談・指導事業、研修・セミナー事業等の各種支援活動を展開している。

特に、将来の地域社会・産業を支える人材を育成するためには、「チャレンジ精神」、「課題発見力」、「問題解決力」、「コミュニケーション力」、「創造力」、「決断力」など、いわゆる「起業家マインド」を備えた人材の育成が重要であり、新市建設計画(平成 16 年 1 月:西条市・東予市・丹原町・小松町合併協議会)においても、「活力ある産業の育成」を図る主要な柱として「人材の育成」をあげているところである。

西条市では、大きな夢を持った子供たちを地域で育てていきたいとの考えに基づき、平成 15 年度から①ベンチャースピリッツ・スクール、②うちぬき創造塾、平成 16 年度から③トレーディングゲーム、④日経エデュケーションプログラムを実施している。

しかしながら、個々の事業について学校現場から高い評価を受け、継続的な実施への期待を寄せられているものの、現状では体系的な育成プログラム、実施体制等の育成環境が整備されているとは言えず、こうした事業をさらに円滑かつ効果的に実施するための仕組みづくりが課題となっている。

この仕組みづくりを推進するためには、地域(企業、団体等)と学校、行政が密接に連携を図っていくことが不可欠であり、「特定プロジェクトチーム」の設置を適用し、地域全体で起業家マインドを醸成していく仕組みづくりを検討する。

本計画終了後、構築した人材育成の仕組みを地域が一体となって運営していくことにより、起業を含む地域雇用の創造と地域経済の活性化を図っていくこととする。

5 地域再生計画の実施が地域に及ぼす経済的社会的効果

大多数の企業においては、新規事業の立ち上げ、既存事業の見直し・再生などにより、絶えず新たな付加価値を創出していかなければ、市場から淘汰される時代であり、これらの業務を担い得る自律的な人材を求めている。すなわち、「起業家マインド」は、創業者や経営者にのみ求められるのではなく、今やサラリーマン、社会人など万人に必要とされるものとなっており、起業家マインドを持つ人材の輩出は、単に創業者が増えるといったことにとどまらず、就職、自営、就学といった社会生活を営むさまざまな局面で前向きに取り組むことのできる人材の輩出を意味する。

新市建設計画のなかで、学校教育の充実を図るため、「一人ひとりの自主性、創造性、協調性を重んじ、生きる力を持った心豊かな人材を育てるため、教育内容の充実等に取り組む。特に、地域の個性を活かした特徴ある教育を進めるとともに、地域社会に開かれた教育を目指して、教育現場において地域の人材を積極的に活用する。」と提言しており、本地域再生計画は、平成 16 年 11 月 1 日に新市が誕生した直後のアクションプランとしても位置付けられる。

本地域再生計画の実施により、西条市に起業家マインドを持つ若者が溢れ、これからの地域社会・産業の活力の源泉となり、さらには経済のグローバル化に対応した地域間競争力の形成に繋がることが期待される。

6 講じようとする支援措置の番号及び名称

11203 地域再生支援のための「特定地域プロジェクトチーム」の設置

7 構造改革特区の規制の特例措置により実施する取組その他の関連する事業

(1) 構造改革特区の規制の特例措置により実施する取組

特になし

(2) その他の関連する事業

①ベンチャースピリッツ・スクール

対象:小学校 5～6 年生(指定校方式)

時期:夏休みの 3 日間(2 泊)

内容:「会社を起こすことから、原料の仕入れ、商品の製造、販売、決算まで」という経済の流れや商売の仕組みの疑似体験を通して、子供たちが「失敗を恐れず挑戦する心」、「自分の考えで行動できる力」、「お金の大切さ」等を学ぶ

その他: (株)西条産業情報支援センター、特定非営利活動法人ベンチャー・アライアンス協会、愛媛大学等が運営・サポート

②うちぬき創造塾

対象:原則高校生(公募方式)

時期:夏休みの3日間(2泊)

内容:事業創造に係るグループワークや事業所見学を通して、人格形成期にある高校生が自分の人生を有意義かつ意欲的に考え行動するプラスαの能力獲得を目指す

その他:(株)西条産業情報支援センター、日本新事業支援機関協議会等が運営・サポート

③トレーディングゲーム

対象:小学校5年生～中学校3年生

時期:平日(1日)

内容:「数カ国のチームに分かれ、資源(人、技術、金、原料等)を用いて指定された製品を生産・換金し、ゲーム終了時にお金の多い国になるのを目指す」シミュレーション・ゲームを通して、子供たちが「自分自身の強み・弱みを発見するだけでなく、友達の新たな一面を発見することで、社会性や人間関係の大切さ」を気づくことを促す

その他:平成16年度は経済産業省の起業家教育促進事業として実施

④日経エデュケーションプログラム

対象:高校3年生

時期:2学期から、「課題研究」の時間を活用

内容:実在する企業から与えられた課題について、調査研究、提案書の作成、プレゼンテーションを通して、高校生の「問題発見・解決力」、「コミットメント」、「就業観」などを養う

その他:平成16年度は経済産業省の起業家教育促進事業として実施

8 その他地域再生計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

特になし

別紙

1. 支援措置の番号及び名称

11203 地域再生支援のための「特定地域プロジェクトチーム」の設置

2. 当該支援措置を受けようとする者

西 条 市

3. 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

(1) 取り組むべき課題

西条市は、大きな夢を持った子供たちを地域で育てていきたいとの考えに基づき、平成 15 年度から①ベンチャースピリッツ・スクール、②うちぬき創造塾、平成 16 年度から③トレーディングゲーム、④日経エデュケーションプログラムを実施している。

しかしながら、個々の事業について学校現場から高い評価を受け、継続的な実施への期待を寄せられているが、開始から 2 年度を経過した現状においては、まだ体系的な育成プログラム、実施体制等の育成環境が十分整備されているとは言えない。

今後事業を円滑かつ効果的に実施するためには、子供の成長段階に応じた育成プログラムの体系化、実施した育成プログラムの評価、新たな育成プログラムの導入及び地域(企業、市民等)、学校、行政の連携体制の構築が課題となっている。

(2) 設置の必要性

育成プログラムの作成については、地域(企業、団体等)、学校、行政が密接に連携を図り、それぞれの持つノウハウを十分に反映させる必要がある。具体的には、経済産業省四国経済産業局による全国における先進的な取組や新たな育成プログラム等の助言及び情報提供を受け、地元企業・教育機関の実地体験に基づいた意見を踏まえることにより、効率的なプログラム作成が可能となる。

＜想定されるメンバー＞

地域:西条市内の立地企業、(株)西条産業情報支援センター等

学校:西条市内の小中高等学校、大学

行政:西条市企画経済部、西条市教育委員会等

国の地方支部局:経済産業省四国経済産業局

(3) 達成される成果

現在のプログラムについて、関係する各機関からのそれぞれの立場からの意見を反映させることにより、先進的な事例を取り入れた実態に即しかつ効果的な育成プログラムを作成する。

また、地域、学校、行政が連携することにより、継続的に起業家教育を実施できる環境が整備できる。